

## 「COVID-19 下における効果的な患者安全体制確保に関する研究」に関する情報公開

### 1. 情報公開の対象

共同研究施設および ASUISHI<sup>※1</sup>・CQSO<sup>※2</sup> 受講生が所属する医療機関・全国の医療機関の患者さま及びご家族さま

※1「明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム（ASUISHI）」

※2「最高質安全責任者養成研修（CQSO）」

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 研究目的：

先行研究により、患者安全の推進に、専従・専任医師の配置が大きく貢献する可能性があることが提示されています。その後、特定機能病院における専従医師配置の義務化や、一般病院における専任医師配置への加算措置が施行され、患者安全への医師の関与は徐々に活性化してきていますが、専従・専任の配置の効果や、その測定方法は明確になっていません。

一方 COVID-19 の感染拡大が見られる中で、医療提供体制全体に負担が生じています。COVID-19 患者を受け入れた医療機関では、COVID-19 に関連するインシデントレポートも多数報告されています。中でも院内感染や、医療従事者の感染リスクを伝えるインシデントレポートは深刻で、その分析と対策は急務と考えられます。

感染と安全の先進的な連携の取組のその効果を明確にし、共有することで、COVID-19 下における安全な医療提供体制の強化につながると考えます。

#### 研究方法：

COVID-19 下における効果的な患者安全体制を明確にするため、下記①～③の方法にて、現場で発生している問題、医療安全専従医師の効果、医療現場からのニーズを把握します。

#### ① COVID-19 関連インシデントレポートの分析

COVID-19 に関連するインシデントを下記のような安全管理体制に関するいくつかのカテゴリーで月別に集計し変遷を見ます。

例)

- ・ 十分な感染対策をしないまま診療・ケアが実施された
- ・ COVID-19 に対するルールの未整備、必要性を指摘するレポート
- ・ COVID-19 対策として導入されたルールに影響を受けたことで発生したエラー
- ・ COVID-19 に関する対策・ルールが守られなかった
- ・ COVID-19 陽性、あるいは疑い患者の治療中に発生したトラブル

## ②インシデントレポートのリスク量測定

先行研究で開発されたリスク量測定プログラムを用いて、医療安全専従医師が配置されている施設と配置されていない施設とで、COVID-19 関連のインシデントレポートのリスク量に差があるか、また COVID-19 以外のインシデントレポートのリスク量に差があるかを調査します。

## ③医療安全管理体制に関するアンケート

医療現場からの医療安全管理体制に対するニーズ、COVID-19 の影響下における安全部門の取組や感染部門との連携・分業の実態についての調査を行います。調査項目は、施設の形態（急性期等）や病床数などの情報（施設を特定できる情報は含まない）と参考文献 2 の医療安全管理体制に関する項目を参考として作成します（最大 50 項目程度）。アンケートは Web により実施しサンプル数は 5000 程度とします。

**研究期間：**実施承認日～2022 年 3 月 31 日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- (1) 共同研究施設および ASUISHI・CQSO 受講生の施設のインシデントレポート
- (2) 全国の医療機関（匿名）からのアンケート回答

※施設や個人を特定できる情報は含みません。

## 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究施設との会合または各種学会において研究成果を公表することがあります。※施設や個人を特定できる情報を含みません。

## 5. 研究組織

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・講師・深見達弥  
東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・助教・梅村朋  
東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・助教・植村政和  
東京医科歯科大学・教授・大川淳  
自治医科大学医学部・教授・遠山信幸  
北海道大学病院・教授・南須原康行  
三重大学医学部附属病院・教授・兼児敏浩  
東京医科大学医学部・准教授・浦松雅史  
名城大学薬学部・准教授・田辺公一

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号：052-744-2940 FAX 番号：05744-2940

e-mail：muemura@med.nagoya-u.ac.jp

担当：植村政和

### 研究責任者：

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅

### 研究代表者：

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅

以上